

2025年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 16 日

1. 職名・氏名 教授・杉山友城

2. 学位 学位 博士（経営学）、専門分野 地域マネジメント、授与機関 名古屋学院大学、
授与年 2012 年 3 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

- ・経営学（単位数 2）配当年次 1（1コマ／15コマ）
- ・外書購読Ⅰ（単位 2）配当年次 2
- ・地域マネジメント論（単位 2）配当年次 2
- ・演習Ⅰ（単位 4）配当年次 3
- ・演習Ⅱ（単位 4）配当年次 4
- ・実践コンサルティング論（単位 2）配当年次 M1
- ・専攻演習Ⅰ 地域マネジメント特論演習Ⅰ（単位 2）配当年次 M1
- ・専攻演習Ⅱ 地域マネジメント特論演習Ⅱ（単位 2）配当年次 M1

②内容・ねらい

・経営学

「経営学総論Ⅰ」で学んだ内容に基づき、経営学の基礎的な知識を網羅的に学び、次年度以降の学修の方向性や履修科目の選択に役立てられるようにするために、「地域マネジメント論」の概要についての講義を行う。

・外書購読Ⅰ

経営学科の学生が知っておくべき理論的または実践的な経営理論とそのポイントを、グループワークを通じて理解を深める。Tom Butler Bowdon『50 Business Classics』を使用。

・地域マネジメント論

安全安心な地域社会のあり方を企画・立案し、まちづくりを実践・運営し、適切に経営管理していく理論と技術を学ぶ。特に、地域創生（まちづくり）や地域産業集積に関する諸理論の視点や事例からのアプローチを試みる。

・演習Ⅰ

地域創生や地域マネジメントに係るテクニカルスキル（実務力）、ヒューマンスキル（人間関係構築力）、コンセプチュアルスキル（概念化能力）の習得を目指す。また、理論の理解力と、実践するための熱意、能力、考え方を高める。すなわち、問題発見力、課題設定力、戦略構想力、活動実行力、成果評価力を磨く。

・演習Ⅱ

学生の問題意識を尊重したテーマを設定し、卒業研究の推進および卒業論文の執筆指導を行う。

・実践コンサルティング論

「コンサルティングとは何か？」を皮切りにして、コンサルティングを実践する際に必要なスキルと、コンサルティングに役立つ理論を学ぶ。

・専攻演習Ⅰ 地域マネジメント特論演習Ⅱ

学術研究の考え方、学術論文の形式などの基礎知識、研究テーマの設定を行う。

・専攻演習 2 地域マネジメント特論演習 2

履修者の研究テーマに対応する文献・先行研究サーベイの実施、「修士論文構想案・研究構想案」の検討・作成の指導を行う。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

・経営学：地域マネジメントは、特に経済学や経営学の理論を活用するため、本講座に登壇する各教員の専門分野（つまり、今後受講することになる専門科目）と地域マネジメントの関連性を意識し講義内容を組み立てた。

【ゲストスピーカー - 名】

【フィールドワーク等 - 件】

・外書購読 I：世界で読まれた 50 の経営理論を紹介する書籍をテキストとして使用することで、経営学科に所属する学生に必要な理論的または実践的な経営理論と基礎英文法の理解を図った。また、グループワークを採用することで、他者への教示、他者からの享受による学習効果の向上を意識した。

【ゲストスピーカー - 名】

【フィールドワーク等 - 件】

・地域マネジメント論：世界的な潮流や人口減少問題などから、「福井」を題材にした福井で学び福井だから学べること（福井における事例）を題材に、地域マネジメントのあり方とやり方に関する内容を平易に伝えることを意識した。また、講義終了後、学生には毎回リフレクションを課し、翌週にリフレクションから得られた疑問点などをフィードバックすることで、習熟の質を高めることを実践した。

【ゲストスピーカー 1 名】

【フィールドワーク等 - 件】

・演習 I：特に福井の農村や市街地の創生や活性化に携わるうえでの実務を重視し、学生自らが主体的に調査や研究のみならず実践する第一歩を踏み出せるようにフィールドワークによる学習を行った。

【ゲストスピーカー - 名】

【フィールドワーク等 2 件】

・演習 II：履修学生の興味や関心、問題意識を尊重することで、主体的、自発的に卒業研究や卒業論文の執筆に取り組める環境を整えることを強く意識した。

【ゲストスピーカー - 名】

【フィールドワーク等 - 件】

・実践コンサルティング論：企業経営（ヒト・モノ・カネ）領域におけるコンサルティング業務を行う際には、とかくテクニカルスキルの強化に目が向けられがちであるが、このスキルを活かすために必要なコンセプチュアルスキルとヒューマンスキルの向上のために論点のまとめ方、伝え方、聴き方・訊ね方など、受講院生間でのディスカッションを通じて理解を深める時間を意識的に増やした。

【ゲストスピーカー - 名】

【フィールドワーク等 - 件】

・専攻演習 1：修士課程における研究の考え方など、基礎的な作法の修得を強く意識し、演習を行った。

【ゲストスピーカー - 件】

【フィールドワーク等 - 件】

・専攻演習 2：履修院生の知識習得状況、問題意識、研究テーマやリサーチクエストにアプローチする社会的意義、履修院生のキャリアを活かしたテーマ設定を重点的に行い、「修士論

文構想案・研究構想案」を洗練化させることを強く意識した演習を行った。

【ゲストスピーカー - 件】

【フィールドワーク等 - 件】

(2)その他の教育活動

内容

・ゲストスピーカー、早稲田大学、国際学生寮 WISH SI プログラム、2025 年 12 月 1 日 19:30
～21:00、地方を元気にするために、私たちは何ができるのか？

・コーディネート、早稲田大学、国際学生寮 WISH 福井実地研修、2026 年 2 月 26 日～3 月
1 日

・客員教員、福井大学大学院、経営学基礎（15 コマ）

・非常勤講師、富山大学、文化政策各論（15 コマ）

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【 -本】
② 学術論文（査読あり）	【 -本】
③ その他論文（査読なし）	【 -本】
④ 学会発表等	
1. 続・地域創生実験—RMO の創設と地域イノベーション—、国際文化政策研究教育学会 2025 年秋季研究交流集会（2025 年 9 月）、共同報告者無	【 1 件】
⑤ その他の公表実績	【 -本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 ・受託研究事業：「ふくい桜マラソン 2025」経済波及効果算定および大会満足度調査業務 ・受託研究事業：福井アリーナ(仮称)整備・運営に関する事業計画(案)」に関する経済波及効果について ・受託研究事業：若狭牛放牧にかかるコミュニティ形成事業委託業務 【学内】	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

①-1 委員就任（国）

①-2 委員就任（県）

- ・福井県「福井駅西口地下駐車場指定管理者選定委員会」、委員長、R2.7～現在に至る
- ・福井県「省塩プロジェクト運営委員会」、委員、R7.9～現在に至る

①-3 委員就任（市町村）

- ・福井市「新事業創出選定評価委員会」、委員、R4.6～現在に至る
- ・福井市「「ふくい企業価値向上人財育成研修会」企画・運営業務に係る福井市プロポーザル審査」、委員、R7.6
- ・敦賀市「敦賀市指定管理者評価委員会」、委員長、R3.2～現在に至る
- ・敦賀市「上下水道事業経営検討委員会」、委員長、R6.8～現在に至る
- ・敦賀市「きらめきスタジアム指定管理者選定委員会」、委員長 R7.10～R7.11
- ・小浜市「下水料金審議会」、委員長、R7.11～現在に至る
- ・大野市「大野市脱炭素推進会議」、委員長、R5.6～現在に至る
- ・坂井市「新産業共創事業審査委員会」、委員、R7.8～現在に至る
- ・若狭町「上下水道事業経営審議委員会」、委員長、R1.10～現在に至る

①-4 委員就任（その他公益法人等）

- ・ふくい産業支援センター「中小企業等外国出願支援事業選考委員会」、委員、R5.7

②国・地方公共団体等の調査受託等

福井県「ふくい桜マラソン 2025」経済波及効果算定および大会満足度調査業務

福井県「福井アリーナ(仮称)整備・運営に関する事業計画(案)」に関する経済波及効果について

③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加

- ・一般社団法人ふくいエネルギーマネジメント協会、理事、R3.6～現在に至る

④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動

⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等

- ・福井市「福井市ナッジ・ユニット」、アドバイザー、R4.9～現在に至る
- ・福井県、福井銀行・福邦銀行、アイコック「ふくい企業価値共創ラボ」運営、R5.9～現在に至る

⑥公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講

⑦その他

- ・北陸地域政策研究フォーラム、運営委員、R4.3～現在に至る
- ・北陸未来共創フォーラム、UI ターン人材の活用・定着 WG、副座長、R6.12～現在に至る

6. 大学運営への参画

(1)補職

- ・地域経済研究所兼担教員

(2)委員会・チーム活動

- ・利益相反マネジメント委員会
- ・経済学部広報委員（公式 X（旧・Twitter）班）
- ・地域政策学部設立準備会

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など

- ・鯖江青年会議所「まち創生ソリューションコンテスト」学生参加支援